

2009年度

科目名	問題解決論		
担当教員	尾川 信之		
配当	人社3	コード	52490
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	問題解決のための思考、技術、ソリューションシステムを理解し、未知の問題に対する解決策を導く力を養う。		
目的と概要	<p>目的 問題解決に必要な思考と技術を習得し、それらを使えるレベルにする。</p> <p>概要 ビジネスを推進していく過程で、様々な問題に直面することは避けられません。また、ビジネスで直面する問題には正解もありません。例えば、うまく問題を乗り越えても、もっとうまく乗り越えられた解決策があったかも知れません。一方で、ビジネスは時間との勝負です。解決策を見出すのに長期間かけては、見出した頃にさらなる環境変化が起きているからです。解決策を策定するのも大切ですが、もっと大切なことはしっかりそれを実行することです。従って、問題をすばやく分析し、問題の本質を見極め、解決策を導き出す思考と技術が必要となります。単なる思いつき策では、大切な経営資源(人、モノ、金)は投入できません。本授業では、問題解決に必要な論理思考、戦略思考、そしてそれらの思考の広がりや深さを論理的に組み立てていく技術を習得します。第一線で活躍するビジネスパーソンにとっては、この思考と技術は必須なものとなっています。</p>		
成績評価法	期中の演習課題(40%) + 期末試験(50%)		
テキスト	問題解決プロフェッショナル/齋藤嘉則/ダイヤモンド社		
参考書	ロジカルシンキングのノウハウドゥハウ/HRインスティテュート/PHP文庫		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>第1回 インTRODクシヨン (1)問題解決が必要となるビジネスの場面、(2)問題解決のプロセスの全体像</p> <p>第2回 思考1 (ゼロベース思考) (1)ゼロベース思考とは、(2)ゼロベース思考のための8つの視点</p> <p>第3回 思考2 (ゼロベース思考) (1)ゼロベース思考の演習</p> <p>第4回 思考3 (仮説思考) (1)仮説思考とは、(2)So What?</p> <p>第5回 思考4 (仮説思考) (1)仮説思考の演習</p> <p>第6回 技術1 (MECE(ミッシー)) (1)MECEを理解する、(2)MECEに使うフレーム:3C+C</p> <p>第7回 技術2 (MECE(ミッシー)) (1)MECEに使うフレーム:マーケティングの4P、(2) MECEに使うフレーム:事業ポートフォリオ</p> <p>第8回 技術3 (MECE(ミッシー)) (1) MECEに使うフレーム:自分で作るフレーム</p> <p>第9回 技術4 (ロジックツリー) (1)ロジックツリーを理解する、(2)ロジックツリーの演習1</p> <p>第10回 技術5 (ロジックツリー) (1)ロジックツリー演習2</p> <p>第11回 ソリュウシヨンシステム1 (1)3つのステップ(課題の設定⇒解決策の仮説⇒解決策の検証・評価)を理解する、(2)解決策の選択のための判断基準</p> <p>第12回 ソリュウシヨンシステム2 (1)課題の設定:主要課題、(2)課題の設定:個別課題の設定</p> <p>第13回 ソリュウシヨンシステム3 (1)解決策の仮説立案、(2)解決策の検証・評価</p> <p>第14回 総合演習</p> <p>第15回 まとめ</p>			